

専業主婦率全国1位の奈良県、自分のための時間を削ってでも「家事と子育て」という役割を果たしている女性が多い。それに生きがいを感じる女性にとって、自分が輝く瞬間だが、家事と子育てだけに奔走すること、何かスッキリしない気持ちを抱える女性もいる。

林田恵さんは、色彩の力を使って女性の自己肯定感を引き出し元気になるつもりでおつと、平成16年にカラー総合スクールA+STYLE(エーススタイル)奈良市油阪町1-1を設立。スクール事業だけでなく、キャリアコンサルタントとして就業・起業支援や人材育成事業なども展開する。

近年は子育て中の母親の受講が増えていると林さんは言う。「仕事だけでなく、母親が自分のために何かをすることに理解が広まってきた。それでも、就労支援をして

子育てママの「輝く」を「色」で支える(中)

いると、外に出て行くことに罪悪感を感じる母親は多い」と話す。

同スクールはパーソナルカラーアナリストなど、資格取得も支援するが、生徒らは「カラー」を仕事や起業につなげようとしているだけではない。シンブルに「色が好きだから」「家族とのコミュニケーションに生かしたい」などの理由で参加する人も多いという。

天理市の太田泰代さん(40)もその一人。仕事と育児に奔走する中で、チラシに掲載されていた林さんの講座を見つけた。家族

自己肯定感引き出す

の理解を得ることができ、長女の保育を頼んで思い切って参加した。

1日だけの講座だったが「誰のためでもない、自分が学びたいと思うことを学べる時間ができるとも充実した時を過ごせた」と感じたという。

その後も受講を継続し、通学歴は6年になる。子連れ参加できるイベントと一緒に参加したことで、最近では長女もカラーに

興味を示し、良き理解者になってくれたという。現在は上級講座の一つである色彩コミュニケーションシオンファシリテーター養成講座(CCPA)を受講。仕事とは別に、自分が学んだカラーの知識を生かし子育て中の母親らを支援する活動も始めているという。

「好きから始めたカラーだったが、まだまだ学びたいことはいっぱいある。同じような子育てママに、カラーで元気になってもらう支援をしていきたい」。この目標も家族みんなが応援してくれている。

目標持つ母親見せる

林さんは、多様化する社会の中で、現在の子どもたちは自分で選択し進む力が必要になると考える。生き方の価値観は3世代で形成されるといい、「母親が、自分の好きなことを楽しむ姿を見せるのも子育ての一つ。目標を持って笑顔あふれる母親を見



「母親が生き生きしていると子どもにも良い影響を与える」と話す林田恵さん(左)と生徒の太田泰代さん。奈良市油阪町のカラー総合スクールA+STYLE(エーススタイル)

て、子どもは自分で考え取り組む楽しさや姿勢を学んでいく。そしてその子どもが成長して子育てをするとき、輝いていた母親像を自分の子どもに伝えることができる」と話す。

家事と育児に奔走する中で、別の目標を持って主体的に取り組むことが母親を笑顔

にし、子どもの自主性を育てるという構図が見えてくる。

「母親が元気になれば家族みんなが元気になれる。生徒からは、子どもとのコミュニケーションが増えたことや、『最近きれいになったね』と家族に言われたなどの声を聞いている。社会全体が元気になれるよう、子育てママを含む全ての女性を支援していきたい」と林さんは意欲を見せた。

本連載第8回は17日に掲載しました。次回は1月8日に掲載

カラー総合スクールA+STYLE(エーススタイル) 自分磨きから資格取得まで、色彩について総合的に学べるスクール。修了生は7500人以上。色のチカラで人と社会を元気に「色」をモットーに、自分の存在価値を認めて「周りを元気にできる人」を育てている。ぬり絵セラピスト講座も開催。塗り絵を通じて自分の相手の気持ちを理解する。平成31年1月20日午後2時~同5時、受講料1万8000円(税別)。問い合わせは同スクール。電話074-42933500。